

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol.27

アゴヒゲアザラシ「ナカちゃん」騒動記

徳島県 那賀川町長
とみなが まさひろ
臣永 正廣



去年の十一月以来、那賀川町の話題といえど何と言っても「ナカちゃん」。町の南側を流れる那賀川に突如として野生のアゴヒゲアザラシがあらわれ、連日のようにテレビ、新聞で放送されました。

中州にあがって前ひれや尻尾を動かすちょっとお茶目な仕様に、見物人は大喜びで、徳島県内はもちろん近畿や九州からわざわざ見物に訪れるほどの大人気。五日間の期間限定で配布した特別住民票は三万六千枚を越え、役場の住民課窓口には県外に住む子どもや孫に贈るといった町民のみなさんが長い行列をつくりました。

「これでは通常業務ができません」と職員は悲鳴をあげていましたが、その横顔は何だか嬉しそうでした。

四国の東海岸、紀伊水道に面した人口一万人あまりの河口の小さな町が、一匹のアザラシのおかげで全国に知られるようになったのです。

遠い北の寒い海に暮らしているはずのアザラシが、何でまた四国の徳島、それも南の那賀川河口に現れたのか不思議でなりません。本町は今春、隣接する阿南市に編入合併になるだけに、またとない記念になりました。

それに、ナカちゃんが可愛いのはもちろんですが、那賀川の河口を自由に悠然と泳ぐその姿には、野生動物の力強さ、たくましさを感じます。

上流にいくつかのダムがあるとはいえ、まだまだ清流を保っている那賀川には、秋の落ち鮎をはじめ、冬には脂がのった寒ボラ、そしてタコやカレイなどの御馳走がふんだんにあります。住民はもちろん関係者もあたたかく見守っています。年が明けてもナカちゃんが元気な姿を見せてくれるのは、そうした山、川、海の豊かな自然と人情があるからでしょうか。

森は海の恋人、川はそれをつなぐラブレターといわれますが、ナカちゃん

はその美しいラブレターに誘われて、このほど五十年の歴史を閉じる私たちの町にやってきたのかもしれない。



職員が制作したナカちゃんのイラスト



中州の河原でくつろぐアゴヒゲアザラシのナカちゃん

| 徳島県那賀郡那賀川町 | | 特別住民票 | |
|---------------------------|--|--------|---------------|
| 氏名 | 谷かひわ なかちゃん | 性別 | 雄 |
| 名 | 那賀川 なかちゃん | 生年月日 | 推定平成10年10月10日 |
| 町民とびら日 | 平成17年11月2日 | 住民票コード | 阿波の86 |
| 住所 | 徳島県那賀郡那賀川町大字森池字中瀬0番地 森池方面から30mの川の中 | | |
| 本籍 | オホーツク海 | | |
| 前住所 | 不詳(太平洋沿岸) | | |
| 備考 | アゴヒゲアザラシ 分類 哺乳類 食肉目熊科アザラシ科 体色は灰色か黄かっ色で、腹は白色。長く、かたく、太い口ひげがたくさん生え、えものをさがす感覚毛の種目をする。 オスはよりメスのほうがやや大きい。オスは繁殖期に、流氷の下の中中で、歌うような声を発する。子供の上で生まれるが、母は産後灰色をしている。 この住民票はナカちゃん専用です。 | | |
| 平成17年11月11日 徳島県那賀郡那賀川町 | | | |

ナカちゃんのためにつくった特別住民票